

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	阿島傘リバイバル計画 (第3期)
事業主体 (連絡先)	喬木村
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	699,468 円 (うち支援金: 559,000 円)

事業内容

阿島傘は、喬木村に江戸時代から伝わる伝統的な和傘であるが、洋傘の普及により生産が激減し、現在は1軒のみ受注生産で製作販売を行っている。阿島傘を「いつでも買える」「いつでも体験できる」体制を構築するため、令和元・2年度に引き続き担い手育成や材料供給体制の整備を図る取り組みを行った。また、阿島傘をPRするため、講座受講生等が製作した阿島傘の展示とライトアップを行うイベントを開催した。



【展示イベント「曙月庵×阿島傘」】

【目標・ねらい】

- ①阿島傘の担い手育成
- ②阿島傘材料の確保
- ③阿島傘のPR

事業効果

①阿島傘の担い手育成のため、阿島傘講座を毎月開催し、定期的に技術研鑽する場をつくることができた。「蛇の目傘」の製作にも取り組むことができた。

②竹骨に適した竹を育成するための竹林整備を行った。喬木村産の竹を使った傘骨を仕入れることができるようになり、地元の材料を活用した阿島傘の製作に近づいた。

③阿島傘の展示イベントを10月末、年末年始、2月の計3回行った。新型コロナウイルス対策にも配慮しながら、飯田下伊那地域の方に多く来場していただき、PRすることができた。

※自己評価【B】

【理由】
コロナ禍で担い手講座等定期的開催できなかったが、阿島傘をPRする展示イベントの機会を増やし、村内外の多くの方に阿島傘を知っていただくことができたため。

今後の取り組み

- ・引き続き、番傘だけではなく「蛇の目傘」の製作にも取り組み、糸かがり技術の習得を図り、より見栄えのする傘ができるよう研究する。
- ・材料の中で最も危機的な状況にある傘骨の確保について、傘骨製作技術の習得を図るとともに、村内の竹林整備を引き続き行い、喬木村産の竹を使った傘骨が供給できる体制を整える。
- ・阿島傘展示イベントについて、毎年定期的開催し、販路拡大にもつながるよう、少しでも多くの方に阿島傘を知ってもらえるようなPR活動を行っていく。